



## 2021年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社ブロードバンドセキュリティ 上場取引所 東  
 コード番号 4398 URL <https://www.BBSec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者 (氏名) 滝澤 貴志  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷 直樹 TEL 03 (5338) 7430  
 定時株主総会開催予定日 2021年9月17日 配当支払開始予定日 2021年9月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月17日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家・報道関係者向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年6月期の業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

#### （1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	4,342	4.0	210	△38.4	197	△37.2	121	△44.4
2020年6月期	4,176	13.8	342	183.2	314	330.1	218	264.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	31.18	30.66	12.7	7.2	4.9
2020年6月期	55.10	54.28	25.1	11.9	8.2

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	2,785	998	35.8	256.16
2020年6月期	2,702	920	34.0	237.20

（参考）自己資本 2021年6月期 998百万円 2020年6月期 920百万円

#### （3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	406	△99	△185	945
2020年6月期	747	△398	△225	829

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	-	0.00	-	10.00	10.00	38	18.1	4.5
2021年6月期	-	5.00	-	5.00	10.00	38	32.1	4.1
2022年6月期（予想）	-	5.00	-	5.00	10.00		16.6	

### 3. 2022年6月期の業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	15.1	400	89.9	386	95.5	268	120.8	60.15

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年6月期	4,006,980株	2020年6月期	3,987,780株
2021年6月期	108,498株	2020年6月期	108,498株
2021年6月期	3,893,697株	2020年6月期	3,960,592株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により社会および経済が大きく変動するという環境の下、厳しい状況が続いております。度重なる緊急事態宣言の発出、人流を制限するための政府からのテレワーク要請もあり、企業活動においてはネットワークやITを活用した「デジタル技術による変革」が加速しています。一方、情報セキュリティ市場におきましては、世界規模でのサイバー攻撃が引き続き増大しており、その影響は単に企業活動の停滞のみならず、社会インフラの停止といった社会問題として認知されるようになりました。特に、ランサムウェアと呼ばれる、感染したコンピュータへのアクセスを制限することで、その制限解除のための身代金を要求するサイバー犯罪の被害が、日本国内においても拡大しております。このような背景から、コロナ禍における経済環境におきましても、情報セキュリティ市場は引き続き拡大傾向を示しています。

このような経営環境下で、当社のサービスに対する需要も継続して増加しております。特に企業がランサムウェアの被害に対応するために必要なサービスであるデジタルフォレンジックと呼ばれる「緊急対応サービス」の需要が大幅に増大しました。当社はこれまでも情報漏えい事故調査を取り扱う「緊急対応サービス」を提供していましたが、2021年4月にはクレジットカード情報の漏えい事故調査を取り扱うことができる国内でも数少ない登録機関として認定されました。当社としましてはこの分野を成長市場として捉え、被害者となってしまった企業・団体の緊急対応ニーズに応えるべく人員態勢の強化を図っています。また、金融分野における情報セキュリティの重要性を鑑み、2020年9月には、国際送金ネットワークを外部評価できる機関としての登録も行いました。監査・コンサルティングビジネスの一分野として、既に複数の地方銀行に対してこの外部評価サービスを提供しております。加えて、2021年5月には、SBIグループのモーニングスター株式会社から「ゴメス・コンサルティング事業」の承継を当社取締役会で決議いたしました。当該事業の主要顧客は金融機関であり、特に地方銀行を中心に、総合的な提案を行える顧客基盤の構築が期待されます。社会的な重要インフラである金融分野において、「デジタル技術による変革」をサイバー犯罪から守ることは当社の責務であると考え、さらなる事業展開を進めてまいります。

一方で、当社の主力サービスである脆弱性診断サービス分野においては、引き続き需要は旺盛であったものの、エンジニアの追加採用の遅れにより一時的に業務委託費が増加した等の理由により、利益を圧迫いたしました。

この結果、当事業年度における業績は、売上高4,342,306千円（前期比4.0%増）、営業利益210,660千円（前期比38.4%減）、経常利益197,438千円（前期比37.2%減）、当期純利益121,387千円（前期比44.4%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度における流動資産は1,738,981千円となり、前事業年度末に比べ185,168千円増加いたしました。その主な内容は、現金及び預金が116,307千円増加したことなどによるものであります。

固定資産は1,046,857千円となり、前事業年度末に比べ101,961千円減少いたしました。その主な内容は、リース資産が60,050千円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は2,785,838千円となり、前事業年度末に比べ83,206千円増加いたしました。

#### (負債)

当事業年度における流動負債は1,236,681千円となり、前事業年度末に比べ65,277千円増加いたしました。その主な内容は、買掛金が35,134千円増加したことなどによるものであります。

固定負債は550,539千円となり、前事業年度末に比べ60,536千円減少いたしました。その主な内容は、リース債務が68,210千円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は1,787,220千円となり、前事業年度末に比べ4,740千円増加いたしました。

#### (純資産)

当事業年度における純資産合計は998,617千円となり、前事業年度末に比べ78,465千円増加いたしました。その主な内容は、当期純利益が121,387千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.8%（前事業年度末は34.0%）となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ116,307千円増加し、945,606千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであり

ます。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は406,382千円(前期は747,704千円の収入)となりました。その主な内容は、減価償却費280,053千円や税引前当期純利益192,844千円の計上などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は99,369千円(前期は398,380千円の支出)となりました。その主な内容は、固定資産の取得による支出100,613千円があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は185,441千円(前期は225,797千円の支出)となりました。その主な内容は、ファイナンス・リース債務の返済による支出184,767千円があったことなどによるものであります。

(4) 今後の見通し

本日開示いたしました「2022年6月期の業績予想について」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、日本基準及び国際会計基準による並行開示の負担等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当事業年度 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	829,299	945,606
受取手形	52,666	54,589
売掛金	431,555	468,545
商品及び製品	3,079	9,790
仕掛品	34,252	30,174
前払費用	202,553	230,030
その他	3,312	3,669
貸倒引当金	△2,905	△3,427
流動資産合計	1,553,813	1,738,981
固定資産		
有形固定資産		
建物	26,453	26,946
減価償却累計額	△9,406	△9,139
建物(純額)	17,047	17,807
工具、器具及び備品	324,852	344,102
減価償却累計額	△238,128	△265,690
工具、器具及び備品(純額)	86,723	78,412
リース資産	472,624	431,661
減価償却累計額	△258,576	△236,924
リース資産(純額)	214,048	194,737
建設仮勘定	13,728	—
有形固定資産合計	331,549	290,957
無形固定資産		
ソフトウェア	164,986	199,106
ソフトウェア仮勘定	270,205	226,230
リース資産	264,976	224,237
無形固定資産合計	700,168	649,574
投資その他の資産		
関係会社株式	6,980	3,308
出資金	500	500
長期前払費用	29,508	23,376
繰延税金資産	7,959	6,665
敷金及び保証金	72,153	72,473
その他	0	0
投資その他の資産合計	117,100	106,325
固定資産合計	1,148,819	1,046,857
資産合計	2,702,632	2,785,838

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当事業年度 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	146,121	181,256
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	95,576	117,830
リース債務	174,933	154,087
未払金	33,938	64,390
未払費用	27,809	35,426
未払法人税等	59,418	56,837
未払消費税等	99,982	62,025
預り金	32,026	40,552
前受収益	396,611	418,471
その他	4,984	5,802
流動負債合計	1,171,404	1,236,681
固定負債		
長期借入金	161,139	180,951
リース債務	349,376	281,165
退職給付引当金	34,955	49,306
長期前受収益	60,625	35,940
その他	4,980	3,176
固定負債合計	611,075	550,539
負債合計	1,782,479	1,787,220
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	285,045	292,725
資本剰余金		
資本準備金	185,045	192,725
資本剰余金合計	185,045	192,725
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	571,820	634,926
利益剰余金合計	571,820	634,926
自己株式	△121,758	△121,758
株主資本合計	920,152	998,617
純資産合計	920,152	998,617
負債純資産合計	2,702,632	2,785,838



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	4,176,183	4,342,306
売上原価		
製品期首たな卸高	2,660	3,079
当期製品製造原価	2,946,904	3,131,235
合計	2,949,565	3,134,314
製品期末たな卸高	3,079	9,790
製品売上原価	2,946,486	3,124,523
売上総利益	1,229,697	1,217,783
販売費及び一般管理費	887,569	1,007,122
営業利益	342,127	210,660
営業外収益		
受取利息	50	60
受取配当金	2	2
為替差益	-	219
保険配当金	264	360
還付消費税等	-	2,962
その他	185	143
営業外収益合計	502	3,749
営業外費用		
支払利息	21,916	16,971
為替差損	6,001	-
その他	364	-
営業外費用合計	28,281	16,971
経常利益	314,348	197,438
特別損失		
固定資産除却損	1,614	922
投資有価証券評価損	20,400	-
関係会社株式評価損	-	3,671
特別損失合計	22,014	4,593
税引前当期純利益	292,334	192,844
法人税、住民税及び事業税	54,799	70,163
法人税等調整額	19,310	1,293
法人税等合計	74,110	71,456
当期純利益	218,224	121,387

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	282,893	182,893	182,893	353,596	353,596	△391	818,990	818,990
当期変動額								
新株の発行	2,152	2,152	2,152	-	-	-	4,304	4,304
剰余金の配 当	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	218,224	218,224	-	218,224	218,224
自己株式の 取得	-	-	-	-	-	△121,366	△121,366	△121,366
当期変動額合 計	2,152	2,152	2,152	218,224	218,224	△121,366	101,161	101,161
当期末残高	285,045	185,045	185,045	571,820	571,820	△121,758	920,152	920,152

当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	285,045	185,045	185,045	571,820	571,820	△121,758	920,152	920,152
当期変動額								
新株の発行	7,680	7,680	7,680	-	-	-	15,360	15,360
剰余金の配 当	-	-	-	△58,281	△58,281	-	△58,281	△58,281
当期純利益	-	-	-	121,387	121,387	-	121,387	121,387
自己株式の 取得	-	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合 計	7,680	7,680	7,680	63,105	63,105	-	78,465	78,465
当期末残高	292,725	192,725	192,725	634,926	634,926	△121,758	998,617	998,617

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	292,334	192,844
減価償却費	307,499	280,053
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△485	521
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,602	14,351
受取利息及び受取配当金	△50	△60
支払利息	21,916	16,971
為替差損益 (△は益)	1,846	4,006
関係会社株式評価損	-	3,671
固定資産除却損	1,614	922
投資有価証券評価損益 (△は益)	20,400	-
売上債権の増減額 (△は増加)	78,653	△38,913
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,486	△2,634
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,685	35,134
その他	105,816	△10,820
小計	795,973	496,050
利息及び配当金の受取額	50	60
利息の支払額	△22,741	△17,856
法人税等の支払額	△25,578	△71,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	747,704	406,382
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△365,553	△100,613
投資有価証券の取得による支出	△20,400	-
その他	△12,427	1,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,380	△99,369
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	-	△100,000
長期借入れによる収入	55,033	149,787
長期借入金の返済による支出	△90,339	△107,721
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△173,429	△184,767
ストックオプションの行使による収入	4,304	15,360
自己株式の取得による支出	△121,366	-
配当金の支払額	-	△58,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△225,797	△185,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,064	△5,264
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	122,461	116,307
現金及び現金同等物の期首残高	706,838	829,299
現金及び現金同等物の期末残高	829,299	945,606

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している関連会社は、利益基準及び剰余金基準からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	237.20円	256.16円
1株当たり当期純利益金額	55.10円	31.18円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	54.28円	30.66円

(注) 1株当たり当期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額 (千円)	218,224	121,387
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	218,224	121,387
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,960,592	3,893,697
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	59,729	65,241
(うち新株予約権 (株))	(59,729)	(65,241)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

## (共通支配下の取引等)

当社は、2021年5月14日開催の取締役会において、同一の親会社を持つモーニングスター株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 朝倉智也、以下、「モーニングスター」）から、同社のゴメス・コンサルティング事業を、当社に承継する会社分割契約を締結することを決議し、同日付で会社分割契約を締結いたしました。この契約に基づき、当社は2021年7月1日を効力発生日として同事業を吸収分割により承継いたしました。

## 1. 取引の概要

## (1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

ゴメス・コンサルティング事業

## (2) 企業結合日

2021年7月1日

## (3) 企業結合の法的形式

当社を吸収分割承継会社とし、モーニングスターを吸収分割会社とする吸収分割（簡易吸収分割）

## (4) 結合後の企業の名称

変更はありません。

## (5) その他の取引の概要に関する事項

## ① 取引の目的

当社は、セキュリティ監査・コンサルティング、脆弱性診断および情報漏えいIT対策を提供するITセキュリティに特化したセキュリティサービスプロバイダであり、2000年11月の設立以降、顧客企業に各種のセキュリティソリューションを提供しています。

一方、モーニングスターは本事業において、利用者視点での客観的サイトランキングを調査・公表しつつ、企業のウェブサービスの評価・分析・コンサルティングおよび各種システム開発業務を提供してまいりました。近年ではウェブサイトの効率的かつ安定的な管理・運営をサポートするために、主に金融機関に向けたウェブサイトの品質検証・管理サービスを拡充させています。

これまで本事業では、金融機関に向けたデジタルトランスフォーメーション（DX）の支援を行ってまいりましたが、今後金融機関以外の業種へのアプローチも強化し、セキュリティも含めたIT管理サービスを、モーニングスターおよびSBIグループと連携して積極的に展開していくことを目的として、本事業の承継を決定しました。

## ② 本分割に係る割当ての内容

当社及びモーニングスターそれぞれの第三者算定機関による算定結果及び対象事業の状況並びに将来の見通し等を総合的に勘案した上で、対象事業の事業価値を1,200百万円とし、2021年4月1日～2021年4月30日の当社の平均株価2,155円をもとに算定した当社株式556,844株をモーニングスターに割当交付しております。

## ③ 承継する事業の経営成績（2021年3月期）

売上高 330,421千円

## ④ 承継する資産、負債の項目及び帳簿価額

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	12,363千円	流動負債	10,782千円
固定資産	22,176千円	固定負債	—
合計	34,540千円	合計	10,782千円

## 2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成31年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。